



お知らせ

記者発表資料 配布日	平成30年7月12日
---------------	------------

■同時発表先：三次記者クラブ
中国新聞社吉田支局

「平成30年7月豪雨」出水における治水事業の効果について（速報）

～土師ダム・灰塚ダムの操作及び河川整備により浸水被害が防止されました～

江の川^{ごう かわ}上流域では、7月5日朝方から7日昼頃にかけて、梅雨前線の影響により強い雨が降り、土師ダム上流で降り始めからの流域平均累加雨量296mm、灰塚ダム上流で流域平均累加雨量352mmを記録しました。

このため、土師ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約630m³に達し、灰塚ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約820m³に達しました。

これを受けて、土師ダム及び灰塚ダムでは防災操作*を実施し、土師ダムで最大毎秒約280m³、灰塚ダムで最大毎秒約550m³の洪水をダムに溜め込みました。

この結果、下流の安芸高田市吉田町付近で水位を約70cm、三次市南畠敷町付近で水位を約55cm、三次市三次町の祝橋付近で水位を約80cm下げたものと推定されます。

また、江の川本川の三次市作木町門田地区^{みよし し さくぎまちもんで}においても、平成30年6月に完成した堤防により、浸水被害が防止されたと推定されます。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

※各数値は速報値であり、今後変わることがあります。

<問い合わせ先>

(河川関係)

国土交通省 三次河川国道事務所 0824-63-4121 (代表)
【担当】副所長(河川) 稲若 孝治 (内線204)
【担当】河川管理課長 内田 敦久 (内線403)

(ダム関係)

国土交通省 土師ダム管理所 0826-52-2455 (代表)
【担当】管理所長 庄司 俊介 (内線201)
【担当】専門官 坂本 和雄 (内線330)